

令和元年度一般会計予算の下半期における執行状況

令和元年度最終予算は、予算規模は、24,712,049千円（繰越明許費を含む。）で、前年度最終予算23,534,032千円と比較すると、1,178,017千円（5%）の増となっています。

また、この予算を執行するに当たっては、

- (1) その経費が既に執行の時期に来ているか
- (2) 内容や方法は適切であるか
- (3) 予定された特定財源の確保の見通しはどうか

などについて十分留意し、経費の効率的運用及び収支の均衡に努めています。

3月31日現在の収入済額は、19,918,843千円で、調定額に対する収入率は88.1%（前年度91.7%）、予算に対する収入率は80.6%（前年度83.1%）となっていますが、これらの大部分は、市税、地方交付税、国庫支出金及び県支出金で収入総額の79.7%を占めています。

一方、歳出の執行額は、19,707,580千円で、予算額に対する執行率は、79.7%（前年度76.1%）になっています。

※出納整理期間（令和2年4月・5月）の歳入・歳出執行額までを加えた額が令和元年度決算額となります。